



ESCO News Letter

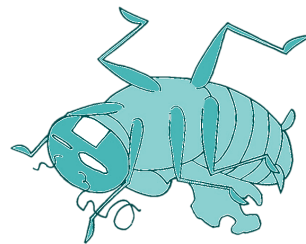
第4巻 第1号

発行日 2015年1月30日

冬場こそ！ゴキブリ撲滅大作戦

冬本番の寒さがやってきました。実はこの冬場こそが、ゴキブリ対策に取り組む最大のチャンスだということを、ご存知でしょうか？気温が下がると、ゴキブリが暖かい場所に集まるため、夏場より見つけやすくなるケースが多いので

す。また、既に個体数が増加した後の夏場になってから対策をしたが、もはや手遅れだった、という事態を招かないためにも、今回は、最大のチャンスである冬場のゴキブリ調査と対策のポイントについてお話したいと思います。



この号の内容

冬越し場所を探せ！ その① 1
工場外周部のチェックポイント

冬越し場所を探せ！ その② 2
工場内部のチェックポイント

工場内を移動しているゴキブリ 3
生息場所をみつけたら…、即撃退！

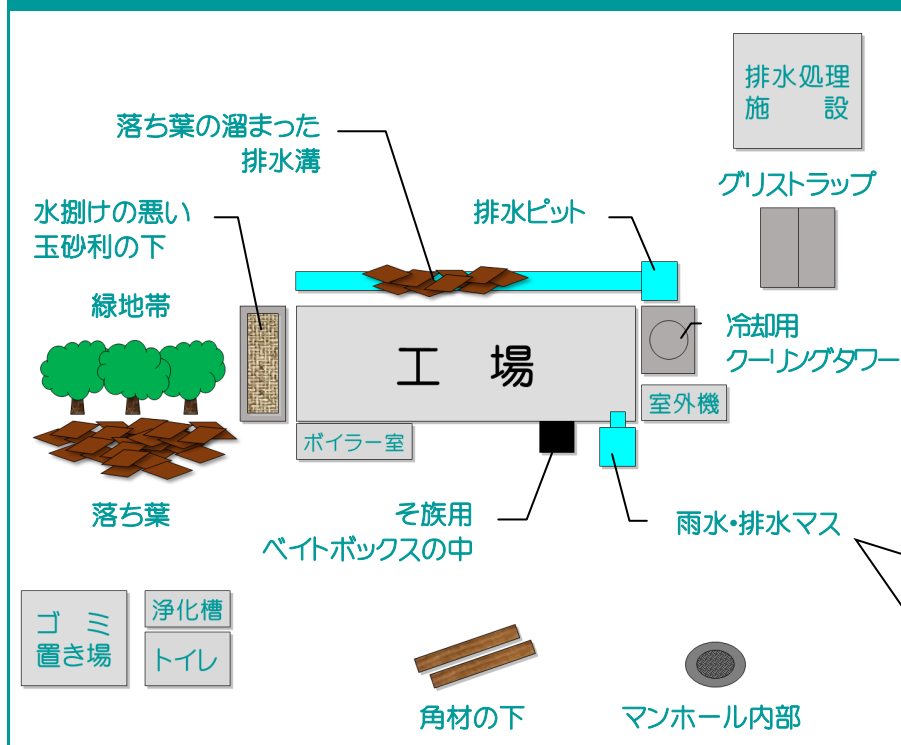
冬越し場所を探せ！ その①

■ 工場外周部のチェックポイント

基本的に、ゴキブリは狭い隙間や物陰を好んで生息しますが、冬越しについても同じことが言えます。例えば、落ち葉の積もった排水溝、壁際に放置された木製パレットや角材は、彼らにとつ

て格好の住み家になります。構造的に隙間ができやすい雨水マスも同様です。その他には、温度の高い冷却用（冷蔵庫用）のクーリングタワーもまた、生息個所になりやすい場所です。

工場外周部ゴキブリの生息場所

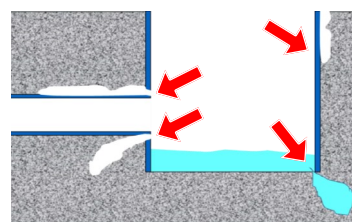


工場の外周部には、ゴキブリが好んで隠れる場所がたくさんあります！



雨水・排水マスの枠、パイプ周りは要注意！

時間の経過とともに隙間が発生し、ゴキブリの生息場所に！



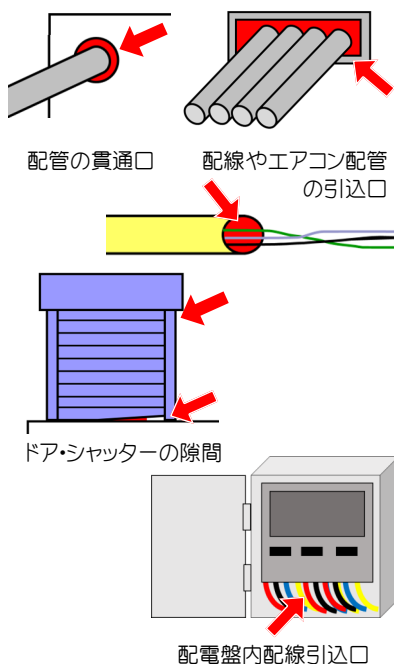
点検できて
いますか？

マンホール、雨水・排水マス

下の写真のような光景は、しばしば見られます。特に温水の流れる箇所は要注意です。まず挙げられる対策は、堆積した落葉、不要物の除去をして生息場所をなくすことです。薬剤を用いた殺虫は非常に効果的ですが、空間処理については、工場内部へのゴキブリの逃げこみを誘発することがあるので、実施する際には注意が必要です。いずれにせよ、定期的な点検は必須となりますので、見落としを防止するために、マンホール＆排水ピットマップを作ると良いでしょう。



外部に通じているこんな場所も
ゴキブリの侵入経路に！



冬越し場所を探せ！ その②

工場内部のチェックポイント

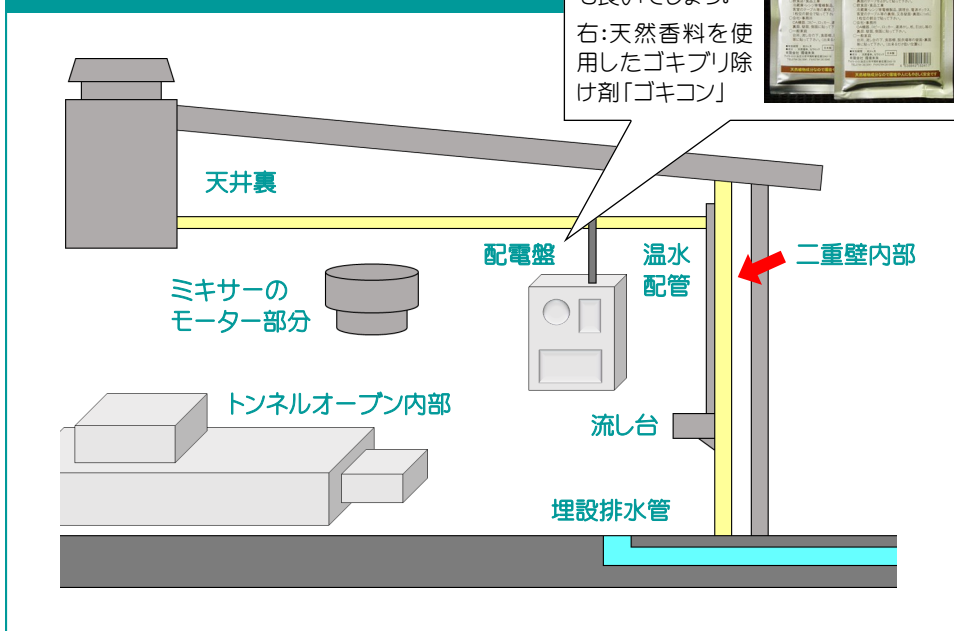
工場内部を点検する際は、ゴキブリが大好きな、狭い隙間や暖かい場所を見落とさないことが重要です。例えば、オーブンやコンロなどの加熱を行う製造機械はもちろんのこと、配電盤内、束ねたコードの隙間、配線モール、モーター、コンセントの中など、電気が流れる場所は熱を持つため要注意です。意外なところでは、電話機やパソコンの内部で生息がみられた事例もあります。

また、熱画像カメラを用いた熱源調査で、思わぬ生息場所が見つかる事もあり

ます。通常なかなか点検が出来ない二重壁の内部や天井裏は、要注意箇所です。特に二重壁内部は問題となるケースが多く、ハンディタイプの内視鏡による調査も必要です。

小型のゴキブリの一種チャバネゴキブリの成虫は、2mmの隙間があれば潜り込めるといわれています。この時期に、配線引き込み部分や機械、壁の隙間をコーキング等で閉塞し、居場所をなくしてしまうことが大切です。

工場内部ゴキブリの生息場所



外部からの侵入経路の閉塞

もう一つ、忘れてはいけないチェックポイントとして、外部からの侵入経路があります。

排水管や雨水管には、網の設置など物理的に侵入を阻止する対策が必要です。水封構造は有効ですが、クロゴキブリなど潜水歩行可能な種には注意が必要です。餌となる残渣の除去も、ぜひ併せて実施して下さい。整理・整頓で隠れ場所をなくし、清掃により餌を除去する『3S』で、工場内部への定着を防ぐのです。

その他、パレット類に付着しての侵入も大きな課題です。特に、ゴキブリに限らず虫の付着しやすい木製パレットの使用は避け、工場内部へ持ち込む際は、清掃・洗浄するなどの対策が不可欠です。

工場外周部での工事や除草など、環境の変化が引き金となり、多数のゴキブリの侵入が想定外に生じることもあります。冬のうちに侵入経路を徹底的に調査し、塞いでおくことは、非常に有効な対策といえます。

工場内を移動しているゴキブリ

多くの工場では、ごきぶりホイホイなど、専用トラップを用いたモニタリングが実施されていると思いますが、設置場所の見直しはされていますか？ゴキブリは、思いのほか工場内を移動しています。いつも同じ場所(定点)に設置し続けていると、ト

ラップを設置していない、予期せぬ場所での大量発生危険があります。トラップの設置場所に関しては、定期的な見直しと、必要に応じてゴキブリ専用の誘引剤を使用した集中調査を検討する必要があります。

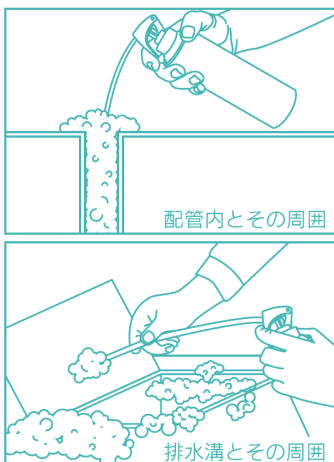
生息場所をみつけたら…、即撃退！

ゴキブリ対策には、殺虫剤による駆除が必要なケースが多いと思います。そのような場合、施工前の養生や、使用後の洗浄も含めて、十分な施工時間が取れるように計画する必要があります。ゴキブリ対策は、『叩けるときにしっかり叩く』が基本です。中途半端な殺虫は、反ってゴキブリを拡散させ、生息場所を広げることに繋がります。殺虫剤に抵抗性を持つゴキブリの出現事例もあります。

また、ゴキブリ用食毒剤は強力な対策のひとつですが、他の殺虫剤、特にピレスロイド系の殺虫剤と併用すると、その忌避作用で効果が全く得られないことがありますので注意が必要です。



最近よく行われているのは、泡を用いた処理です。埋設排水管内部や機械下など、ゴキブリの生息個所に、泡を充満させて施工します。殺虫剤を使わず界面活性剤の泡で、洗浄しにくい排水管から発生する害虫を手軽に除去できる『クリアフォーマー』を活用する工場も増えています。



洗浄＆消臭(殺虫剤不使用) クリアフォーマー

泡が処理面の汚れ、残渣や虫などを包み込んで除去します。



アース環境

総合環境衛生管理で
社会に貢献します

これまでお話してきたように、冬場は、ゴキブリ撲滅の大きなチャンスです。是非この機会に、これまでの活動の見直

しと、工場外周部、内部の総点検および対策を実施し、予防的なゴキブリ対策に取り組んで頂ければと思います。

無断複写・複製はご遠慮下さい。

本件に関してのお問合せは、
03-3253-0640

ホームページもご覧ください
<http://www.earth-kankyo.co.jp/>